

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 5 月定例会

2 開 催 日 時

令和元年 5 月 8 日（水）10 時 30 分開会 11 時 26 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、戸田委員、副田委員

6 欠 席 委 員

吉原委員

7 出席事務局職員

白水教育次長、古賀教育総務課長、中島学校教育課長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、竹下生涯学習課参事、井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

8 傍 聴

1 人

9 経 過 報 告

4 月定例会以降の経過報告

10 議 事 録 承 認

4 月定例会の議事録承認

【承認】

11 議事及び審議結果

議案第 13 号 平成 30 年度鳥栖市育英資金貸付基金の運用状況について 【承認】

議案第 14 号 議会の議決を経るべき議案の原案について 【承認】

（令和元年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算）

議案第 15 号 鳥栖市公民館類似施設に対する補助金交付規則の廃止について

【承認】

12 協議報告事項

（1）学校運営協議会の実績報告について

（2）学校評議員会の実績報告について

13 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

14 次回会議予定

教育委員会 6 月定例会

令和元年 6 月 12 日（水）8 時 30 分から

○天野教育長

それでは皆さん、おはようございます。風薫る5月ということになりましたけれども、本当に慌ただしい4月が過ぎまして、大型10連休も終わりました。学校の方は7日が新しい令和のスタートということになりましたけれども、今からが学校現場も1学期の本番ということで、非常に大変だなというふうに思っています。

10日間の大型連休に対してですね、今回初めて学校からの命や事故に関する緊急連絡への対応ということで、転送電話による対応を初めて行いました。結果はですね、部活の件であるとか忘れ物の件とかエアコン業者からの連絡とか、子供の相談もあったんですけど、大きな事故や怪我もなかったということで非常に安心してます。初めてこの転送をやったんですけども、このことについてはこれからさまざまなことに活用できるだろうというふうに思っていて、これからしっかり考えていきたいというふうに思っています。これから教職員も児童生徒に関しましても、さまざまな問題や疲れも出てくるということもありますけど、今まで以上に学校と連携をしながら、アンテナを高くして対応していきたいというふうに思っています。

12校の校長先生方との期首面談を昨日からスタートいたしました。昨年よりちょっと遅れているんですけども、3校ほど昨日行いました。校長さん方のそれぞれの学校運営についてしっかり話を聞いて指導したというところになりますけど、校長先生方も非常に張り切っておられるなというふうに思っております。

今日は吉原委員が御欠席ということになっておりますけど、午後から総合教育会議も予定しておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思っています。それではただいまより、教育委員会5月定例会を始めます。では、経過報告をお願いいたします。はい、古賀課長。

○古賀教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。経過報告につきまして何か御質問等ありましたらお願いします。いいでしょうか。はい、それでは次にまいります。

次に議事録承認ということで、議事録承認につきましては2ページに要旨がありまして、別冊にまとめていただいておりますので、議事録につきまして何か御質問・御意見等ありましたらまた事務局の方にお願ひしたいというふうに思いますが、御承認ということでいいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、次に行きます。

では3番目の議案ということで、まず最初に議案第13号平成30年度鳥栖市育英資金貸付基金の運用状況についてお願いします。はい、古賀課長。

○古賀教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、説明ありがとうございました。それでは議案第13号のこの運用状況について、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。現在14名の方に貸し付けということで行われている状況ですけども、この制度は今貧困家庭がこれだけ増加している中で、非常に有意義になっています。価値のある取り組みだというふうに思っていますし、しっかりこれを運用していかなくちゃいけないというふうに思っています。それから、寄附金も毎年こういった形でいただいているということも含めてですね、しっかり運用していかなくちゃいけないというふうに思っていますが、委員の皆様方から御質問いいでしょうか。それでは運用状況については御

承認いただくということで、ありがとうございます。次にいきます。

議案第 14 号議会の議決を経るべき議案の原案について(令和元年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算)についてお願いいたします。はい、古賀課長。

○古賀教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今度 6 月の議会の補正ということで、歳入・歳出について詳しく説明をしていただきました。それでは、委員の皆様方から御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。そしたら私の方から、小中連携による学力向上推進地域指定事業ということで県の方からの委託金が入ってきてますけど、これについてももう少し詳しく説明をお願いしたいというふうに思います。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

失礼いたします。小中連携による学力向上推進地域指定事業費委託金につきましては、これまで行われてきました児童生徒の活用力向上研究指定事業の後継事業的な事業でございまして、活用力事業を通して小中連携の重要性が課題として挙げられる中、児童生徒の学力向上に向けまして、基本の定着や活用力を高める授業改善、また、自ら課題を発見しその解決に向けて主体的に学ぶ態度の育成等に小中学校が連携して取り組むというもので、本年度は基里小学校及び基里中学校が指定を受けているところでございます。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。鳥栖市としても、小中一貫ということでずっと回しておりますけど、令和元年、そして 2 年は基里小中の方をお願いをしているということも含めて、県の方からもどうだろうかということできております。今まで活用力というのをやってたんですけど、やっぱり小中連携が大事だよということでそこに視点を置いてということで、うちとしては基里小中学校に委嘱とともにお願いをするという形になりました。予算が 45 万円くらいつきまして縛りもないので、ありがたい取り組みということでやっております。他に委員さんから、はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。宿の鉦浮立の用具整備の件です。市内には他にもいくつかあるかなというふうに承知しております。その中で他からも整備のための助成をいただきたいというリクエストがあったのかどうか、あっていたとすれば、その中で優先順位、必要性等を判断して決定されたのか、その経緯を教えてください。

○天野教育長

はい、久山係長。

○久山生涯学習課文化財係長

これは毎年総合政策課の方で「宝くじ助成金」ということで募集しておりまして、区長会等で案内をされていると聞いております。大体 2 箇所か 3 箇所が申し込まれているそうです。その中で、優先順位といいますか必要性等を考えて県の方に推薦いたしまして、県の方がまた県内全体の中で順位をつけられた中で採択されたということでございます。

○天野教育長

4 月 29 日は雨だったんですけど、私も宿の鉦浮立に出て奉納のところが公民館であつたんですけども、その場でもこういう形で助成金が 140 万円くらい入りまし

たというようなことで、鉦が3つ分ぐらいだという話もされていきました。そういうことでとても喜んでありましたし、今言ったように他にもいろいろ伝統行事はあるんですけど、そういったことについてはそれぞれ予算を組んで支援をしているというような状況になります。今回こういうコミュニティ助成金があったということで非常によかったと喜んでありました。他にいいでしょうか。それでは、議案第14号議会の議決を経るべき議案の原案について（令和元年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算）については御承認いただくということでいいでしょうか。はい、ありがとうございます。

では次に行きます。議案第15号鳥栖市公民館類似施設に対する補助金交付規則の廃止についてお願いします。はい、松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

（資料に基づき説明）

○天野教育長

はい、ありがとうございます。所管替えがありまして、市民協働推進課が所管しているということでこの規則を廃止するということになりますけど、委員の皆さんいいでしょうか。ということで、補助金交付規則の廃止について御承認いただくということでありがとうございます。

それでは次に協議報告事項にいけます。最初に学校運営協議会の実績報告についてお願いします。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

（資料に基づき説明）

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

（資料に基づき説明）

○天野教育長

はい、ありがとうございました。ということで昨年度、基里小中学校で新スタートしたということで1年間を踏まえての反省なんですけど、皆さんから御質問・御意見等ありましたらお願いします。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

教えてください。初年度ですね、皆さんいろいろ悩まれながら発足してこういった成果が出てきたっていうのはすばらしいと思うんですけども、今後、他の小中学校区に広げていくに当たって、今回初年度ながら出てきた成果っていうのがコミュニティ・スクールっていう枠組みだから出てきたんだっていう説明といいですか、こういう枠組みだからこうなったんだっていうのをどう理解すればいいのか、その辺のこの学校運営協議会だからこそなし得たんだっていうところを少し補足いただけませんかでしょうか。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい。主な成果のところでは言いますと、やはりこのコミュニティ・スクールが立ち上がったことによって、学校運営での課題点というのが挙がってきまして、そこで見守りというところが非常に必要であるというふうな声が上がってきまして。そこから、地域の中で見守り隊を立ち上げる必要があるんじゃないかという声が大きく、その活動でこの見守り隊というのができてきました。

また、この学校運営協議会自体は、一つは先生方の業務改善といいですか、働き方改革も担っている部分がございます。その観点からこれまで学校の職員が休日も

出てきて稲の育苗活動を行っていましたが、それは地域にお願いできるんじゃないかということから、育苗につきましてはもちろん学校に来てるときは教職員や子供たちが見ますけれども、休日につきましては地域の方々が率先してやってくれました。これも一つの立ち上がった成果というふうに捉えております。

それと、これまで文化祭について、子供たちが参加するということではございませんでした。しかし、やはり相互的な作用というところを考えると、地域が学校にお手伝いをする、学校が地域に出る、そして共に子供たちを同じ目標の中で育てていくという観点からいきますと、これも地域の行事への参画というところにつきましては、立ち上げた成果ではないかというふうに考えております。大きくは今のところが成果になってくるかというふうに思っております。以上です。

○天野教育長

戸田委員いいですかね。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

これは教育委員会も、学校の校長、教頭、主任の方も、導入に当たっては非常にしっかりとした考えのもとに、地域を巻き込んでされていったのは、途中説明も何回も聞いておりましたので理解はしております。そういう中で、この事業をするに当たっては、今国の方でも言うております先生方の働き方改革について、先ほど古賀参事からも説明がありましたように育苗にしてもコミュニティ・スクールで受けていただくというふうになったわけですけど、導入当初はひよっとしたら、また業務が増えるんじゃないかなという抵抗もあったんじゃないかなと思います。言葉とか行動には起こされないにしても、内心ではそういう思いがあったんじゃないかなと思うので、そこら辺の先生方の変化、精神的な面でもし分析されているのであればお聞かせください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい。先生方の意識につきましては詳細の部分についてはまだつかんでおりませんが、今度の年度当初から今年度末にかけての意識の変化を追っていく必要があるというところで、先生方への意識調査はしっかりととっていく予定にしております。ただ先ほどの育苗とかそういうところについては、これはもう校長や教頭の言葉でしか捉えることができおりませんけれども、そういったところでは休日出勤しなくていいし楽だったということです。

確かに取りかかり当初ですので、まだ軽減されたという意識は薄いというふうに聞いております。あとは、いかに実際に動いてくださる方々を確保していくかどうか、ここは一つの大きな課題点になっているかと思っておりますので、今後そこの絡みも踏まえながら見ていく必要があるかというふうに考えております。以上です。

○天野教育長

古澤委員いいですか。

○古澤教育委員

今のお答えで分かりました。ただ目に見える業務の減少だけではなくて、地域の見守り隊が他の地域ではしっかりと朝も夕方もされてる中で、基里の方になかったってことで、4地区でそういう取り組みが見えたということはよかったと思います。先生方も授業が終わって生徒を帰すときに、学校を出たら地域の子供という考えがあるかもしれませんが、無事におうちに帰ってほしいというプレッシャーは頭の中にあっただろうと思います。そういう中で、4地区でしっかりと地域で活

動されてるという部分はですね、いくらか負担の軽減にもつながるのではないかなというふうに期待をしております。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。この運営協議会をやる上で目標がありまして、一つは「地域の力を学校へ、学校の力を地域へ」とあるんですけど、今古澤委員が言われたように、働き方改革の流れに沿ってこれをいかに利用できるのかというところも大きなポイントというふうに考えてやってきたわけですけど、昨日実は基里小学校の校長先生の期首面談をしました。実際のところどうねっていう話をして出た中で、文化祭の話が出ました。さっき話があったように5年生が教科「日本語」でやっている落語を基里地区の文化祭に出しましょうというときに、やっぱり職員がそのために対応をする、それから土日などに出てくるとかいうところで、なかなか働き方改革と言いながらもそういうことでいろいろ負担が出てきたんじゃないかなっていう声があったんじゃないかということでした。

非常にそこは難しいんですが、そもそもの目的は働き方改革のためだけのものではなくて、やっぱり地域の活性化とか学校を核として地域を広げたりとかそういったことが中心で、その辺を考えると致し方ない部分もあるんですね。確かに他の地区を見ると、なぜ基里地区だけが文化祭の方に子供の参加がなかったのかっていうところなんです。他はどこも子供の参加があるんですよ。北地区は北小も出るし、鳥栖中の吹奏楽部も出るというふうにとこも出てるんですけど、基里地区は出ていなかったということなんです。それについてもこのコミュニティ運営協議会をした大きな成果が現れて、地域の方は子供たちが出てくれた、それから開会行事は中学生が司会をしてくれたということで、地域の方はコミュニティ運営協議会がしてくれたということで非常に安堵されたし、よかったということでした。

しかし、どうしてもそこに教職員の負担が出てくるところが難しいところで、働き方改革の視点から見るともっと可視化できるところで、自分たちはここまででいいんだと、先ほど出たように栽培活動に種まきのあとの世話は地域の方がするとか、それから中学校の場合は放課後の補充学習を頼むことができたとか、そういったことをもう少し広げていく必要があるだろうというふうには思っていますけれども、今日の総合教育会議でも話が出ると思うんですが、最初の一年目でなかなか実際問題として難しいところもあるなというところなんです。働き方改革を中心にやろうとは思っててもなかなか難しい面もあるということはしっかり理解しておかなくちゃいけないだろうというふうに思っています。そういうことを含めて、今後、令和2年度に向けて他の学校にも広げていく考えをしっかりと持たなくちゃいけないというふうに思っています。はい、副田委員。

○副田教育委員

はい。これは質問っていうよりも私の意見として発言させていただきたいと思えます。例えば、基里小学校の運営協議会委員の地区の方を見ますと、区長であったり、民生委員の方がなったださっているわけですが、私の自治会でも高齢化が非常に問題となっております、例えばこれからこの委員をお願いするときに、区長が退いて次の区長になったら、自然とこの基里地区の学校運営協議会委員がついてくるとか、その様な踏襲制のような形にならないような配慮が必要かなというふうに思います。お役を退いて、これを引き受けるとまた次々っていうのをとても嫌がられて、何か今そのような、ちょうど移行期に高齢化でなっているんですね。ですから、どうぞそこに配慮が必要かなと思っております。以上です。

○天野教育長

ありがとうございます。確かに充て職みたいな感じですね、なかなか難しい面も出てくるということで、やっぱり人の面が非常に難しいなというふうに思っています。どうしてもコーディネーター役はですね、ここで見るとPTAの会長が両方入っておられてその方がコーディネーター役をやっているということもあって、その辺のところ大きな課題だろうというふうに思っています。PTA会長になったらこれもやらないといけないという大変ですので、そういうことも含めて委員の人選についても人数はこれだけこれでいいのかということも含めて、今後検討していく必要があるなというふうに思っております。

それでは次にいきます。学校運営協議会は評議員会を運営協議会に変えていった部分もあるんですけど、それでは他の10校で行われております学校評議員会の実績報告についてお願いいたします。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。平成30年度の実績報告ということで報告をしていただきました。学校運営協議会という形でやっておりますけど、評議員は評議員会でしっかりやっていただいている部分があります。ちょっと見ていただいて、御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。どうでしょうか。

学校評議員会というものは学校運営に対する承認という形のものを行うんですけども、この学校評議員は諮問機関という形で、校長先生の方がいろんなことについて諮問をして、いろんな意見を聞くというようなことで取り組んでおります。これを見ると、学校側の参加者が校長だけっていうところもあれば、教務主任から教頭からオールスターキャストみたいな感じで出ているところもあるということで、学校によってその辺の違いはあるようですけど、それぞれこれだけ意見をいただいて成果等も挙がっているようですので、これはこれとして今後ともしっかりお願いしたいと思います。今後、コミュニティ・スクールをもしするとすれば評議員会の制度はなくなるというような形になりますけど、メンバー的にはこれだけ多々おられますので、引き継ぐような形も出てくるころもあるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

1点だけお尋ねします。学校評議員の委員の方々というのは、どういう役割なのかというのはしっかりと承知されていると思っておりますし、一定のマナーやルールを分かった上で行動、活動されていると思っております。

例えば学校の方で生徒指導上の問題について問題行動やいじめの問題がありました、そういった場合に、地域のこういう評議員会に意見をおろす場合にどのような形でどこまで情報を出されるのか、ひょっとしたらこういった方々の不満の中に、学校は情報をなかなか教えてくれないとか、そういったことをよそで聞いたりしたことがあるものですから、デリケートな個人の情報についてはもちろん出せないでしょうけど、緊急を要するような、例えば家出をしたとか、そういう場合についてはどこまでというふうな統一した見解をお持ちなのかお尋ねします。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

今の委員の御質問のお答えになるかどうか分かりませんが、統一したラインはな

いというのが現状でございます。各学校のそれぞれの課題に応じ、例えば生徒指導に関わる問題、いじめに関わるような問題、不登校に関わるような各学校の実情に応じた課題等を提起されて、それに対して評議員の方々からそれぞれ専門的な立場の方もいらっしゃるし、地域の視点から見た立場での御意見とか、そういったところをいただきながら、学校としてはそれを参考にして教育活動に当たっています。当然この委員さん方につきましても守秘義務というのを保持していただいておりますので、そういった中で、各学校が確かに個人情報としてどこまで出せるのかという部分は線引きしておりませんが、ある程度のところまで出しながら、解決に向けて一体となって進めているところでございます。以上です。

○天野教育長

はい、古澤委員いいですかね。私も学校で評議員会をしたときに、基本的には評議員さん方に全てオープンで出すということを基本にしてみました。もちろん守秘義務もありますし、委員さん方もしっかりその辺は守っていただいているということですが、校長会等で話を聞くとこれは学校によって随分差があるんじゃないかなということなんです。評議員会の取り組み方についても一昨年ぐらいにお話ししたこともあったんですけども、今日の話を受けてまた今度の校長会辺りでも話をしたいと思えます。

デリケートな部分ももちろんありますけれども、やっぱり評議員さん方を信頼して、しっかり伝えるというようなことが基本だというふうに私は思っていますし、そういうつもりで今後ともまた話をしていきたいというふうに思っています。というところでいいでしょうか。戸田委員。

○戸田教育委員

すいません、協議した主な内容の一つにですね、コミュニティ・スクールというのがあるんですけども、実際それぞれの小学校で議論されたかどうかは別にして、評議員の方々あるいは協議会の中で、コミュニティ・スクールについて、さらには昨年度始まった基里小中学校でのコミュニティ・スクールの取り組みについて議論があったのか、あるいは興味関心、意見等があったのか、もしあればその辺を紹介していただきたく思っています。よろしくお願ひします。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

はい。コミュニティ・スクールにつきましては、16ページの弥生が丘小学校の方で協議内容として出ているんですが、すいません、具体的にはそこは詳細をつかんでおりません。今後こういったことへ移行していく、そういった話題が出たというところぐらいまでしかつかんでおりません。

○天野教育長

一応校長会の方ではですね、どこの学校でも学校評議員会は今後学校運営協議会に変わっていきますという話をしていますので、先の見通しを持ったところでそういう話もされてあるのかなというふうに思っています。コミュニティに対する興味を持ってもらわなきゃいけないし、どのように違うのかということも含めて、今年度の学校評議員会ではこういったものを議題にしながら話し合いをするようにということで指示をしたいというふうに思っています。他にいいでしょうか。はい、それでは協議報告事項を終わります。

今後の予定についてお願ひします。古賀課長。

○古賀教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。今後の予定について何か御質問等、副田委員。

○副田教育委員

5月15日の「もうひとつのお話し会」についてですが、いくつぐらいの方を対象にしているのか、そしてどのような内容なのか教えてください。

○天野教育長

はい、中溝係長。

○中溝生涯学習課図書係長

はい、お答えします。「もうひとつのおはなし会」は未就学児を対象としています。それと内容としては、ストーリーテリングでのおはなし会ということで、本を持たない形のおはなし会となります。

○天野教育長

はい、副田委員。

○副田教育委員

このおはなし会の人数制限というのはあるんですか。

○天野教育長

はい、中溝係長。

○中溝生涯学習課図書係長

特に人数制限っていうのは設けてないんですけども、この開催場所の児童室「お話の森」っていうところが、大体30名程度入るといっばいになるような部屋になっておりますので、先着順というような形です。

○副田教育委員

承知いたしました。

○天野教育長

はい、他に。今後の予定を見ると、宿泊訓練が入ってきてます。それでこれは前回もちょっと話をしたんですけど、今までは2泊3日でやってた宿泊訓練を縛りをかけませんから1泊2日でもいいですよってしたんですが、見たら分かるようにみんな2泊3日なんですね。旭小だけが5年生で特別支援の配慮の必要な子供たちが非常に多いからということで、そこだけ1泊2日にしました。私は2泊3日っていう気持ちもあるんですけども、この辺については各学校の実態に応じてっていう形で、この宿泊訓練の内容を充実させていきたいというふうに思ってます。はい、それではいいですかね。

これをもちまして、教育委員会5月定例会を終わります。皆さんどうもお疲れさまでした。